

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2003年 4月30日

出 願 番 号

Application Number:

特願2003-125111

[ST.10/C]:

[JP2003-125111]

出 願 人

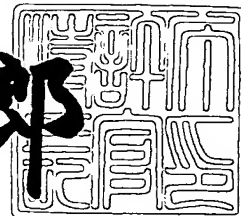
Applicant(s):

ユニ・チャーム株式会社

2003年 5月23日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3038359

【書類名】 特許願

【整理番号】 SL15P021

【提出日】 平成15年 4月30日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 A41B 13/00
A61F 13/00

【発明の名称】 使い捨て体液吸収パッド

【請求項の数】 11

【発明者】

 【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
 チャーム株式会社テクニカルセンター内

 【氏名】 河田 ひかり

【発明者】

 【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
 チャーム株式会社テクニカルセンター内

 【氏名】 中下 将志

【発明者】

 【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
 チャーム株式会社テクニカルセンター内

 【氏名】 山内 香

【特許出願人】

 【識別番号】 000115108

 【氏名又は名称】 ユニ・チャーム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100066267

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 白浜 吉治

 【電話番号】 03(3592)0171

【選任した代理人】

【識別番号】 100108442

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 義孝

【電話番号】 03(3592)0171

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2002-285937

【出願日】 平成14年 9月30日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006264

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9904036

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 使い捨て体液吸収パッド

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 縦方向に前域および後域と、前記前後域の間に位置する中間域とを備え、肌当接側に位置する透液性表面シートおよび肌非当接側に位置する不透液性裏面シートと、前記表裏面シートの間に介在して前記前後域間に延びる吸液性コアとから構成され、前記吸液性コアの両端縁の外側に位置して横方向へ延びる前後端部と、前記吸液性コアの両側縁の外側に位置して横方向へ延びる両側部とを有する縦長の使い捨て体液吸収パッドにおいて、

前記裏面シートの外面を覆う外側シートが、前記前後域と前記中間域とのうちの少なくとも該中間域に配置され、前記外側シートが、前記パッドの両側部に沿って縦方向へ延びる固定両側部と、前記固定両側部の間に位置して前記パッドから遊離する自由部とを有し、前記パッドの使用者がその手を挿入可能な挿入部が、前記裏面シートと前記外側シートの自由部との間に形成されていることを特徴とする前記パッド。

【請求項 2】 前記外側シートが、前記前域と前記中間域とのうちの少なくとも該中間域から前記後域へ向かって延びるとともに、前記パッドの後端部に沿って横方向へ延びる固定端部を有し、前記パッドでは、前記自由部が前記固定両側部と前記固定端部との間に位置し、前記挿入部が前記前域の側から前記後域の側へ向かって開口するポケットである請求項 1 記載のパッド。

【請求項 3】 前記パッドの両側部に沿って縦方向へ延びる伸縮性弾性部材が、前記前後域と前記中間域とのうちの少なくとも該中間域に収縮可能に取り付けられている請求項 1 または請求項 2 に記載のパッド。

【請求項 4】 前記パッドの前後端部が、前記吸液性コアの上方に位置するように該吸液性コアの両端縁から縦方向内方へ向かって延出し、前記パッドの両側部が、前記吸液性コアの上方に位置するように該吸液性コアの両側縁から横方向内方へ向かって延出し、前記前後端部と前記両側部とが、前記吸液性コアの周囲を囲む弾性伸縮可能な周壁を形成している請求項 1 または請求項 2 に記載のパッド。

【請求項 5】 前記周壁には、その周方向へ実質的に環状を画く伸縮性弾性部材が収縮可能に取り付けられている請求項 4 記載のパッド。

【請求項 6】 前記前域と前記中間域の前半分とに位置する前記吸液性コアの肌当接側から上方への隆起高さが、前記中間域の後半分と前記後域とに位置する前記吸液性コアの肌当接側から上方への隆起高さよりも大きい請求項 1 ないし請求項 5 いずれかに記載のパッド。

【請求項 7】 前記中間域には、前記表面シートを内側にした状態で前記パッドを 2 つに折り畳むための横方向へ延びる折曲案内部が形成され、前記折曲案内部における前記吸液性コアの剛性が、前記折曲案内部を除く前記吸液性コアの残余の部位のそれよりも低い請求項 1 ないし請求項 6 いずれかに記載のパッド。

【請求項 8】 前記中間域には、前記表面シートを内側にした状態で前記パッドを 2 つに折り畳むための横方向へ延びる折曲案内部が形成され、前記折曲案内部が、前記吸液性コアを除く前記表裏面シートから形成されている請求項 1 ないし請求項 6 いずれかに記載のパッド。

【請求項 9】 前記外側シートが位置する前記吸液性コアの部位には、前記外側シートの周縁近傍に沿って肌当接側から上方へ隆起する隆起部が形成され、前記隆起部における前記吸液性コアの表裏面シート間の厚み寸法が、該隆起部を除く前記吸液性コアの残余の部位のそれよりも大きい請求項 1 ないし請求項 8 いずれかに記載のパッド。

【請求項 10】 前記外側シートには、前記表裏面シートの色調と異なる色調の着色が施されている請求項 1 ないし請求項 9 いずれかに記載のパッド。

【請求項 11】 前記外側シートが、所定の表示要素を有する請求項 1 ないし請求項 10 いずれかに記載のパッド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、使い捨て体液吸収パッドに関する。

【0002】

【従来の技術】

縦方向に前域および後域と、前後域の間に位置する中間域とを備え、透液性表面シートおよび不透液性裏面シートと、表裏面シートの間に介在して前後域間に延びる吸液性コアとから構成され、横方向へ延びる前後端部と、縦方向へ延びる両側部とを有する縦長矩形の使い捨て体液吸収パッドは公知である（特許文献 1 参照）。

【 0 0 0 3 】

特許文献 1 に開示のパッドの裏面シートには、環状の細長いゴムが取り付けられている。ゴムは、パッドの中間域における横方向中央に配置されている。ゴムは、その縦方向両端縁部が裏面シートの外面に固着され、両端縁部間に延びる中央部が裏面シートに固着されておらず、裏面シートから遊離している。このパッドを使用するには、それをパンツの内側にのせた後にパンツを装着する。このパッドは、裏面シートの外面に取り付けられたゴムがパンツの内側に接するので、ゴムが滑り止めとなってパンツに対するパッドのずれを防ぐことができる。

【 0 0 0 4 】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 2 - 1 1 9 5 2 8 号公報（第 2 - 3 頁、第 1 図）

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

特許文献 1 に開示のパッドは、その使用にパンツを利用しなければならず、パッドを単独で使うことができない。また、このパッドは、その使用時にパッドをパンツにのせるだけなので、パッドそれ自体が使用者の肌に密着することではなく、パンツを介してパッドを使用者の肌に密着させる必要がある。このパッドは、パンツが使用者の股間部からずれ下がると、それにともなってパッドも股間部からずれ下がり、パッドが使用者の肌から離間してパッドに体液を吸収させることができない。

【 0 0 0 6 】

本発明の目的は、単独で使うことができ、パンツを介さずに使用者の肌に密着させることができる使い捨て体液吸収パッドを提供することにある。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するための本発明の前提は、縦方向に前域および後域と、前記前後域の間に位置する中間域とを備え、肌当接側に位置する透液性表面シートおよび肌非当接側に位置する不透液性裏面シートと、前記表裏面シートの間に介在して前記前後域間に延びる吸液性コアとから構成され、前記吸液性コアの両端縁の外側に位置して横方向へ延びる前後端部と、前記吸液性コアの両側縁の外側に位置して横方向へ延びる両側部とを有する縦長の使い捨て体液吸収パッドである。

【0008】

前記前提における本発明の特徴は、前記裏面シートの外面を覆う外側シートが、前記前後域と前記中間域とのうちの少なくとも該中間域に配置され、前記外側シートが、前記パッドの両側部に沿って縦方向へ延びる固定両側部と、前記固定両側部の間に位置して前記パッドから遊離する自由部とを有し、前記パッドの使用者がその手を挿入可能な挿入部が、前記裏面シートと前記外側シートの自由部との間に形成されていることにある。

【0009】

本発明は、以下の実施態様を有する。

(1) 前記外側シートが、前記前域と前記中間域とのうちの少なくとも該中間域から前記後域へ向かって延びるとともに、前記パッドの後端部に沿って横方向へ延びる固定端部を有し、前記パッドでは、前記自由部が前記固定両側部と前記固定端部との間に位置し、前記挿入部が前記前域の側から前記後域の側へ向かって開口するポケットである。

(2) 前記パッドの両側部に沿って縦方向へ延びる伸縮性弾性部材が、前記前後域と前記中間域とのうちの少なくとも該中間域に収縮可能に取り付けられている。

(3) 前記パッドの前後端部が、前記吸液性コアの上方に位置するように該吸液性コアの両端縁から縦方向内方へ向かって延出し、前記パッドの両側部が、前記吸液性コアの上方に位置するように該吸液性コアの両側縁から横方向内方へ向かって延出し、前記前後端部と前記両側部とが、前記吸液性コアの周囲を囲む弾性

伸縮可能な周壁を形成している。(4) 前記周壁には、その周方向へ実質的に環状を画く伸縮性弾性部材が収縮可能に取り付けられている。

(5) 前記前域と前記中間域の前半分とに位置する前記吸液性コアの肌当接側から上方への隆起高さが、前記中間域の後半分と前記後域とに位置する前記吸液性コアの肌当接側から上方への隆起高さよりも大きい。

(6) 前記中間域には、前記表面シートを内側にした状態で前記パッドを2つに折り畳むための横方向へ延びる折曲案内部が形成され、前記折曲案内部における前記吸液性コアの剛性が、前記折曲案内部を除く前記吸液性コアの残余の部位のそれよりも低い。

(7) 前記中間域には、前記表面シートを内側にした状態で前記パッドを2つに折り畳むための横方向へ延びる折曲案内部が形成され、前記折曲案内部が、前記吸液性コアを除く前記表裏面シートから形成されている。

(8) 前記外側シートが位置する前記吸液性コアの部位には、前記外側シートの周縁近傍に沿って肌当接側から上方へ隆起する隆起部が形成され、前記隆起部における前記吸液性コアの表裏面シート間の厚み寸法が、該隆起部を除く前記吸液性コアの残余の部位のそれよりも大きい。

(9) 前記外側シートには、前記表裏面シートの色調と異なる色調の着色が施されている。

(10) 前記外側シートが、所定の表示要素を有する。

【0010】

【発明の実施の形態】

添付の図面を参照し、本発明に係る使い捨て体液吸収パッドの詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0011】

図1は、一例として示すパッド1Aの部分破断斜視図であり、図2、3は、図1のII-II線矢視断面図と、図1のIII-III線矢視断面図とである。図1では、横方向を矢印X、縦方向を矢印Yで示し、厚み方向を矢印Zで示す。なお、表裏面シート2、3や外側シート11の内面とは、コア4に対向する面をいい、それらシート2、3、11の外面とは、コア4に非対向の面をいう。

【 0 0 1 2 】

パッド 1 A は、肌当接側に位置する透液性表面シート 2 と、肌非当接側に位置する不透液性裏面シート 3 と、表裏面シート 2, 3 の間に介在する吸液性コア 4 とから構成されている。パッド 1 A は、縦方向へ長い略矩形を呈し、縦方向に前域 5 および後域 7 と、前後域 5, 7 の間に位置する中間域 6 とを有する。パッド 1 A は、コア 4 の両端縁 4 a の外側に位置して横方向へ延びる前後端部 8, 9 と、コア 4 の両側縁 4 b の外側に位置して縦方向へ延びる両側部 1 0 とを有する。パッド 1 A には、裏面シート 3 の外側に配置されてシート 3 の外面を覆う外側シート 1 1 が取り付けられている。

【 0 0 1 3 】

コア 4 は、パッド 1 A の前後域 5, 7 間に延び、表裏面シート 2, 3 の内面に接合されている。コア 4 は、フラッフパルプと高吸収性ポリマーとの混合物、または、フラッフパルプと高吸収性ポリマーと熱可塑性合成樹脂繊維との混合物であり、所定の厚みに圧縮されている。ゆえに、コア 4 は、その剛性が表裏面シート 2, 3 のそれよりも高い。コア 4 は、その型崩れを防止するため、全体がティッシュペーパーや親水性繊維不織布等の透液性シートに包被されていることが好ましい。

【 0 0 1 4 】

中間域 6 の両側部 1 0 には、縦方向へ延びる複数条の伸縮性弾性部材 1 2 が収縮可能に取り付けられている。弾性部材 1 2 は、表面シート 2 と裏面シート 3 との間に介在し、それらシート 2, 3 の内面に固着されている。弾性部材 1 2 は、中間域 6 のみならず、前域 5 と後域 7 とに延びていてもよい。図 1 では、弾性部材 1 2 が縦方向内方へ収縮し、パッド 1 A が表面シート 2 を内側にして縦方向へ湾曲している。

【 0 0 1 5 】

外側シート 1 1 は、中間域 6 から後域 7 に向かって延びるとともに、パッド 1 A の後端部 9 に達している。外側シート 1 1 には、実質的に非伸縮性の疎水性繊維不織布が使用されている。なお、外側シート 1 1 は、前域 5 から後域 7 に向かって延びていてもよい。外側シート 1 1 には、表裏面シート 2, 3 の色調と異な

る色調の着色が施されている（着色の図示は省略）。たとえば、表裏面シート 2，3 の色調が乳白色であれば、外側シート 1 1 の色調は赤色や青色、黄色である。外側シート 1 1 には、所定の表示要素 1 3 が形成されている。表示要素 1 3 は、外側シート 1 1 の外面に印刷された兎の顔のイラストである。表示要素 1 3 は、イラストの他に、文字や図形、記号であってもよい。

【 0 0 1 6 】

外側シート 1 1 は、パッド 1 A の両側部 1 0 に固着された固定両側部 1 4 と、パッド 1 A の後端部 9 に固着された固定端部 1 5 と、固定両側部 1 4 と固定端部 1 5 との間に位置する自由部 1 6 とを有する。固定両側部 1 4 と固定端部 1 5 とでは、外側シート 1 1 の内面が裏面シート 3 の外面に固着されている。自由部 1 6 は、裏面シート 3 に固着されておらず、裏面シート 3 から遊離している。裏面シート 3 と外側シート 1 1 の自由部 1 6 との間には、前域 5 の側から後域 7 の側へ向かって開口するポケット P 1（挿入部）が形成されている（図 2，3 参照）。ポケット P 1 は、後記するパッド 1 A の使用者 2 0 がその手 2 1 を入れることが可能な大きさを有する。

【 0 0 1 7 】

前後端部 8，9 は、コア 4 の両端縁 4 a から縦方向外方へ延びる表裏面シート 2，3 の部分から形成されている。前後端部 8，9 では、表裏面シート 2，3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2，3 の内面どうしが固着されている。両側部 1 0 は、コア 4 の両側縁 4 b から横方向外方へ延びる表裏面シート 2，3 の部分から形成されている。両側部 1 0 では、表裏面シート 2，3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2，3 の内面どうしが固着されている。

【 0 0 1 8 】

図 4，5 は、使用状態にあるパッド 1 A の斜視図と、廃棄するために折り畳まれた使用後のパッド 1 A の斜視図とである。図 4 では、パッド 1 A の使用者 2 0 を二点鎖線で示す。

【 0 0 1 9 】

パッド 1 A を使用するには、図 4 に示すように、使用者 2 0 がポケット P 1（

挿入部) に手 2 1 を入れ、中間域 6 が股間部 2 3 に位置するように、パッド 1 A の表面シート 2 を自分の肌にあてがう。パッド 1 A は、前域 5 が使用者 2 0 の腹部 2 2 の側に当接し、後域 7 が使用者 2 0 の臀部 2 4 の側に当接するとともに、中間域 6 が使用者 2 0 の股間部 2 3 に当接する。使用者 2 0 は、パッド 1 A をあてがった状態で表面シート 2 上に排尿する。尿は、表面シート 2 を透過してコア 4 に吸収、保持される。

【 0 0 2 0 】

パッド 1 A は、それを使用者 2 0 自身が自分の肌にあてがうので、パッド 1 A を排尿位置に正確に密着させることができ、尿をパッド 1 A に確実に吸収させることができる。使用者 2 0 は、ポケット P 1 に手 2 1 を入れてパッド 1 A を保持することができるので、肌にあてがったパッド 1 A が股間部 2 3 から不用意に落ちてしまうことはない。

【 0 0 2 1 】

パッド 1 A は、従来技術のそれと異なり、パンツを介してパッド 1 A を肌に密着させる必要はない。パッド 1 A は、その使用にパンツを利用する必要はなく、ポケット P 1 に手を入れてパッド 1 A を肌にあてがうだけなので、パッド 1 A の使用が簡単であることはもちろん、パッド 1 A 単独での使用が可能である。

【 0 0 2 2 】

パッド 1 A では、外側シート 1 1 に表裏面シート 2, 3 の色調と異なる色調の着色が施され、かつ、兎の顔のイラストが印刷されているので、使用者 2 0 が肌にあてがうべき面（表面シート 2）を間違えることはなく、さらに、ポケット P 1 の存在を容易に認識することができる。

【 0 0 2 3 】

使用後のパッド 1 A を廃棄するには、図 5 に示すように、パッド 1 A を前域 5 から後域 7 に向かって縦方向へ折り畳み、外側シート 1 1 の内面が外側となるように外側シート 1 1 の内外面を反転させ、外側シート 1 1 と表面シート 2 との間に形成されるポケット P 1 に折り畳まれたパッド 1 A を収納する。使用後のパッド 1 A は、ポケット P 1 によってその折り畳まれた状態が保持されるので、パッド 1 A を折り畳まれた状態のまま廃棄することができる。

【 0 0 2 4 】

図 6 は、他の一例として示す体液吸収パッド 1 B の部分破断斜視図であり、図 7, 8 は、図 6 の V I I - V I I 線矢視断面図と、図 6 の V I I I - V I I I 線矢視断面図とである。図 6 では、横方向を矢印 X、縦方向を矢印 Y で示し、厚み方向を矢印 Z で示す。

【 0 0 2 5 】

パッド 1 B は、透液性表面シート 2 および不透液性裏面シート 3 と、表裏面シート 2, 3 の間に介在する吸液性コア 4 とから構成されている。パッド 1 B は、縦方向に前後域 5, 7 および中間域 6 を有し、コア 4 の両端縁 4 a の外側に位置して横方向へ延びる前後端部 8, 9 と、コア 4 の両側縁 4 b の外側に位置して縦方向へ延びる両側部 1 0 とを有する。

【 0 0 2 6 】

パッド 1 B には、裏面シート 3 の外面を覆う外側シート 1 1 が取り付けられている。中間域 6 の両側部 1 0 には、縦方向へ延びる複数条の伸縮性弾性部材 1 2 が収縮可能に取り付けられている。弾性部材 1 2 は、表裏面シート 2, 3 の内面に固着されている。図 6 では、弾性部材 1 2 が縦方向内方へ収縮し、パッド 1 B が表面シート 2 を内側にして縦方向へ湾曲している。コア 4 は、図 1 のそれと同一のものであり、パッド 1 B の前後域 5, 7 間に延び、表裏面シート 2, 3 の内面に接合されている。

【 0 0 2 7 】

外側シート 1 1 は、中間域 6 に配置されている。外側シート 1 1 には、弾性的な伸縮性を有する疎水性繊維不織布が使用されている。外側シート 1 1 は、前後域 5, 7 と中間域 6 とのうちの少なくとも中間域 6 に配置されていればよい。外側シート 1 1 の色調は、表裏面シート 2, 3 の色調と同一である。

【 0 0 2 8 】

外側シート 1 1 は、パッド 1 B の両側部 1 0 に固着された固定両側部 1 4 と、固定両側部 1 4 の間に位置する自由部 1 6 とを有する。固定両側部 1 4 では、外側シート 1 1 の内面が裏面シート 3 の外面に固着されている。自由部 1 6 は、裏面シート 3 に固着されておらず、裏面シート 3 から遊離している。裏面シート 3

と外側シート 1 1 の自由部 1 6 との間には、パッド 1 B の使用者 2 0 がその手 2 1 を入れることが可能な大きさの挿入部 1 7 が形成されている（図 7，8 参照）。

【0 0 2 9】

外側シート 1 1 の固定両側部 1 4 を裏面シート 3 に固着するときは、外側シート 1 1 が横方向へ非伸長状態にある。なお、外側シート 1 1 を横方向へ伸長させた状態で固定両側部 1 4 を裏面シート 3 に固着してもよい。

【0 0 3 0】

外側シート 1 1 が位置するコア 4 の部位には、外側シート 1 1 の周縁近傍に沿って表面シート 2 の側へ向かって隆起する隆起部 1 8 が形成されている。隆起部 1 8 におけるコア 4 の表裏面シート 2，3 間の厚み寸法は、隆起部 1 8 を除くコア 4 の残余の部位のそれよりも大きい。隆起部 1 8 は、実質的に環状を呈する。隆起部 1 8 におけるコア 4 の厚み寸法を残余の部位のそれよりも大きくするには、コア 4 を形成するパルプや合成樹脂繊維、ポリマーの分量を残余の部位よりも隆起部 1 8 で多くすればよい。

【0 0 3 1】

前後端部 8，9 では、表裏面シート 2，3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2，3 の内面どうしが固着されている。両側部 1 0 では、表裏面シート 2，3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2，3 の内面どうしが固着されている。

【0 0 3 2】

このパッド 1 B を使用するには、図 4 と同様に、使用者 2 0 が挿入部 1 7 に手 2 1 を入れ、中間域 6 が股間部 2 3 に位置するように、パッド 1 B の表面シート 2 を肌にあてがう。パッド 1 B は、前域 5 が使用者 2 0 の腹部 2 2 の側に当接し、後域 7 が使用者 2 0 の臀部 2 4 の側に当接するとともに、中間域 6 が使用者 2 0 の股間部 2 3 に当接する。使用者 2 0 は、パッド 1 B をあてがった状態で隆起部 1 8 に囲繞された部位 1 9 に排尿する。尿は、表面シート 2 を透過してコア 4 に吸収、保持される。パッド 1 B では、コア 4 に形成された隆起部 1 8 が尿に対する障壁を形成するので、部位 1 9 に排泄された尿のパッド 1 B の外側への漏れ

を防ぐことができる。

【 0 0 3 3 】

パッド 1 B は、それを使用者 2 0 自身が自分の肌にあてがうので、パッド 1 B を排尿位置に密着させることができ、尿をパッド 1 B に確実に吸収させることができる。使用者 2 0 は、挿入部 1 7 に手 2 1 を入れてパッド 1 B を保持することができるので、肌にあてがったパッド 1 B が股間部 2 3 から不用意に落ちてしまうことはない。

【 0 0 3 4 】

パッド 1 B は、その使用にパンツを利用する必要はなく、挿入部 1 7 に手 2 1 を入れてパッド 1 B を肌にあてがうだけなので、パッド 1 B の使用が簡単であるとともに、パッド 1 B 単独での使用が可能である。パッド 1 B は、外側シート 1 1 に伸縮性の繊維不織布が使用されているので、挿入部 1 7 に入れた手 2 1 が外側シート 1 1 に締め付けられ、手 2 1 が挿入部 1 7 から簡単に抜けてしまうことはない。

【 0 0 3 5 】

使用後のパッド 1 B を廃棄するには、図示はしていないが、パッド 1 B を前域 5 から後域 7 に向かって縦方向へ折り畳み、外側シート 1 1 の内面が外側となるように外側シート 1 1 の内外面を反転させ、表面シート 2 と外側シート 1 1 との間に折り畳まれたパッド 1 B を収納する。

【 0 0 3 6 】

図 9 は、他の一例として示す体液吸収パッド 1 C の斜視図であり、図 1 0、1 1 は、図 9 の X - X 線矢視断面図と、図 9 の X I - X I 線矢視断面図とである。図 1 では、横方向を矢印 X、縦方向を矢印 Y で示し、厚み方向を矢印 Z で示す。

【 0 0 3 7 】

パッド 1 C は、透液性表面シート 2 および不透液性裏面シート 3 と、表裏面シート 2、3 の間に介在する吸液性コア 4 とから構成されている。パッド 1 C は、縦方向に前後域 5、7 および中間域 6 を有し、コア 4 の両端縁 4 a の外側に位置して横方向へ延びる前後端部 8、9 と、コア 4 の両側縁 4 b の外側に位置して縦方向へ延びる両側部 1 0 とを有する。

【 0 0 3 8 】

パッド 1 C には、裏面シート 3 の外面を覆う外側シート 1 1 が取り付けられている。コア 4 は、図 1 のそれと同一のものであり、パッド 1 C の前後域 5, 7 間に延び、表裏面シート 2, 3 の内面に接合されている。裏面シート 3 は、疎水性繊維不織布 2 8 と通気不透液性プラスチックフィルム 2 9 とをラミネートした複合シートが使用されている。

【 0 0 3 9 】

外側シート 1 1 は、中間域 6 から後域 7 に向かって延びるとともに、パッド 1 A の後端部 9 に達している。外側シート 1 1 には、実質的に非伸縮性の疎水性繊維不織布が使用されている。外側シート 1 1 には、表裏面シート 2, 3 の色調と異なる色調の着色が施されている（着色の図示は省略）。外側シート 1 1 の外面には、兎の顔のイラストが印刷されている。

【 0 0 4 0 】

外側シート 1 1 は、パッド 1 C の両側部 1 0 に沿って縦方向へ延びる固定両側部 1 4 と、パッド 1 C の後端部 9 に沿って横方向へ延びる固定端部 1 5 と、固定両側部 1 4 と固定端部 1 5 との間に位置する自由部 1 6 とを有する。固定両側部 1 4 は、コア 4 の両側縁 4 b 近傍に固着されている。固定端部 1 5 は、後域 9 の側に延びるコア 4 の端縁 4 a 近傍に固着されている。固定両側部 1 4 と固定端部 1 5 とでは、外側シート 1 1 の内面が裏面シート 3 の外面に固着されている。自由部 1 6 は、裏面シート 3 に固着されておらず、裏面シート 3 から遊離している。裏面シート 3 と外側シート 1 1 の自由部 1 6 との間には、前域 5 の側から後域 7 の側へ向かって開口するポケット P 1 （挿入部）が形成されている（図 1 0, 1 1 参照）。

【 0 0 4 1 】

パッド 1 C の前後端部 8, 9 は、コア 4 の両端縁 4 a から縦方向内方へ向かって延びている。前後端部 8, 9 は、その大部分が裏面シート 3 の部分から形成されている。前後端部 8, 9 では、コア 4 の両端縁 4 a から縦方向内方へ表面シート 2 の部分がわずかに延び、表面シート 2 の部分からさらに縦方向内方へ裏面シート 3 の部分が延びている。前後端部 8, 9 では、表裏面シート 2, 3 の部分が

互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面どうしが固着されている。

【 0 0 4 2 】

パッド 1 C の両側部 1 0 は、コア 4 の両側縁 4 b から横方向内方へ向かって延びている。両側部 1 0 は、その大部分が裏面シート 3 の部分から形成されている。両側部 1 0 では、コア 4 の両側縁 4 b から横方向内方へ表面シート 2 の部分がわずかに延び、表面シート 2 の部分からさらに横方向内方へ裏面シート 3 の部分が延びている。両側部 1 0 では、表裏面シート 2, 3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面どうしが固着されている。

【 0 0 4 3 】

パッド 1 C の前後端部 8, 9 と両側部 1 0 とは、コア 4 の上方に位置してコア 4 の周囲を囲む周壁 2 5 を形成している。周壁 2 5 には、その周方向へ実質的に環状を画く複数条の伸縮性弾性部材 2 6 が収縮可能に取り付けられている。それら弾性部材 2 6 は、周壁 2 5 の周方向外方から周方向内方へ向かって所与寸法離間して並び、所定の倍率に伸長させた状態で周壁 2 5 に取り付けられている。弾性部材 2 6 は、裏面シート 3 を形成する不織布 2 8 とフィルム 2 9 との間に介在し、それらに固着されている。周壁 2 5 は、弾性部材 2 6 の収縮力によってコア 4 の上方で周方向へ収縮かつ周方向内方へ狭窄している。コア 4 の周囲と周壁 2 5 との間には、パッド 1 C の周方向内方へ向かって開口するポケット P 2 が形成されている。

【 0 0 4 4 】

前域 5 と中間域 6 の前半分 6 a とでは、そこに位置するコア 4 の厚み寸法が中間域 6 の後半分 6 b と後域 7 とに位置するコア 4 のそれよりも大きく、コア 4 の肌当接側から上方への隆起高さが中間域 6 の後半分 6 b と後域 7 とに位置するコア 4 の肌当接側から上方へのそれよりも大きい。前域 5 や中間域 6 の前半分 6 a におけるコア 4 の隆起高さ（厚み寸法）を中間域 6 の後半分 6 b や後域 7 におけるコア 4 のそれよりも大きくするには、コア 4 を形成するパルプや合成樹脂繊維、ポリマーの分量を中間域 6 の後半分 6 b や後域 7 よりも前域 5 や中間域 6 の前半分 6 a で多くすればよい。なお、前域 5 や中間域 6 の前半分 6 a では、そこに

位置するコア 4 の密度が中間域 6 の後半分 6 b や後域 7 に位置するコア 4 のそれよりも高いことが好ましい。前域 5 や中間域 6 の前半分 6 a におけるコア 4 の密度を中間域 6 の後半分 6 b や後域 7 におけるコア 4 のそれよりも高くするには、コア 4 を形成するパルプや合成樹脂繊維の密度を中間域 6 の後半分 6 b や後域 7 よりも前域 5 や中間域 6 の前半分 6 a で高くすればよい。

【 0 0 4 5 】

中間域 6 には、表面シート 2 を内側にしてパッド 1 C を縦方向へ 2 つに折り畳むための折曲案内部 2 7 が形成されている。案内部 2 7 は、中間域 6 の縦方向中央に位置して横方向へ延びている。案内部 2 7 では、そこに位置するコア 4 の厚み寸法が中間域 6 の案内部 2 7 を除くコア 4 の残余の部位のそれよりも小さく、案内部 2 7 におけるコア 4 の剛性がコア 4 の残余の部位のそれよりも低い。折曲案内部 2 7 に位置するコア 4 の密度は、中間域 6 の残余の部位に位置するコア 4 のそれと同一であってもよく、中間域 6 の残余の部位に位置するコア 4 のそれより低くてもよい。案内部 2 7 におけるコア 4 の密度を残余の部位におけるコア 4 のそれよりも低くするには、コア 4 を形成するパルプや合成樹脂繊維の密度を残余の部位よりも案内部 2 7 で低くすればよい。

【 0 0 4 6 】

図 1 2 は、使用状態にあるパッド 1 C の斜視図である。パッド 1 C を使用するには、使用者 2 0 がポケット P 1 （挿入部）に手 2 1 を入れ、中間域 6 が股間部 2 3 に位置するように、パッド 1 A の表面シート 2 を自分の肌にあてがう。なお、このパッド 1 C の廃棄処理手順は、図 1 のパッド 1 A のそれと同一であり、その説明は省略する。

【 0 0 4 7 】

パッド 1 C は、前域 5 が使用者 2 0 の腹部 2 2 の側に当接し、後域 7 が使用者 2 0 の臀部 2 4 の側に当接するとともに、中間域 6 が使用者 2 0 の股間部 2 3 に当接する。使用者 2 0 は、パッド 1 C をあてがった状態で排尿する。尿は、表面シート 2 を透過してコア 4 に吸収、保持される。パッド 1 C は、それを肌にあてがったときに、パッド 1 C が折曲案内部 2 7 を介して縦方向へ 2 つ折りになるので、前域 5 を腹部 2 2 に後域 7 を臀部 2 4 に容易に密着させることができる。パ

ッド 1 C は、それを廃棄するときに、折曲案内部 2 7 を介してパッド 1 C を縦方向へ容易に折り畳むことができる。

【 0 0 4 8 】

パッド 1 C は、それを使用者 2 0 自身が自分の肌にあてがうので、パッド 1 C を排尿位置に密着させることができ、尿をパッド 1 C に確実に吸収させることができる。使用者 2 0 は、ポケット P 1 に手 2 1 を入れてパッド 1 C を保持することができるので、肌にあてがったパッド 1 C が股間部 2 3 から不用意に落ちてしまうことはない。

【 0 0 4 9 】

パッド 1 C は、その使用にパンツを利用する必要はなく、ポケット P 1 に手 2 1 を入れてパッド 1 C を肌にあてがうだけなので、パッド 1 C の使用が簡単であるとともに、パッド 1 C 単独での使用が可能である。パッド 1 C では、外側シート 1 1 に表裏面シート 2, 3 の色調と異なる色調の着色が施され、かつ、兎の顔のイラストが印刷されているので、使用者 2 0 が肌にあてがうべき面（表面シート 2）を間違えることはなく、さらに、ポケット P 1 の存在を容易に認識することができる。

【 0 0 5 0 】

パッド 1 C は、尿が表面シート 2 の外面を拡散してコア 4 の周囲に達したとしても、尿がコア 4 の周囲と周壁 2 5 との間に形成されたポケット P 2 に收容されるので、尿がパッド 1 C の前後端部 8, 9 や両側部 1 0 から外側に漏れてしまうことはない。パッド 1 C は、前域 5 と中間域 6 の前半分 6 a とに位置するコア 4 の肌当接側から上方への隆起高さ（厚み寸法）が中間域 6 の後半分 6 b と後域 7 とに位置するコア 4 の肌当接側から上方へのそれよりも大きく、パッド 1 C に多量の尿が排泄されたとしても、前域 5 と中間域 6 の前半分 6 a とに位置するコア 4 に排泄された多量の尿を吸収させることができる。

【 0 0 5 1 】

図 1 3 は、他の一例として示す体液吸収パッド 1 D の斜視図であり、図 1 4, 1 5 は、図 1 3 の X I V - X I V 線矢視断面図と、図 1 3 の X V - X V 線矢視断面図とである。図 1 3 では、縦方向を矢印 X、横方向を矢印 Y で示し、厚み方向

を矢印 Z で示す。

【 0 0 5 2 】

パッド 1 D は、透液性表面シート 2 および不透液性裏面シート 3 と、それらシート 2, 3 の間に介在する吸液性コア 4 とから構成されている。パッド 1 D は、縦方向に前後域 5, 7 および中間域 6 を有し、コア 4 の両端縁 4 a の外側に位置して横方向へ延びる前後端部 8, 9 と、コア 4 の両側縁 4 b の外側に位置して縦方向へ延びる両側部 1 0 とを有する。

【 0 0 5 3 】

パッド 1 D には、裏面シート 3 の外面を覆う外側シート 1 1 が取り付けられている。コア 4 は、図 1 のそれと同一のものであり、パッド 1 D の前後域 5, 7 間に延び、表裏面シート 2, 3 の内面に接合されている。裏面シート 3 は、疎水性繊維不織布 2 8 と通気不透液性プラスチックフィルム 2 9 とをラミネートした複合シートが使用されている。

【 0 0 5 4 】

外側シート 1 1 は、中間域 6 に配置されている。外側シート 1 1 には、弾力的な伸縮性を有する疎水性繊維不織布が使用されている。外側シート 1 1 の色調は、表裏面シート 2, 3 の色調と同一である。外側シート 1 1 は、パッド 1 D の両側部 1 0 に沿って縦方向へ延びる固定両側部 1 4 と、固定両側部 1 4 の間に位置する自由部 1 6 とを有する。固定両側部 1 4 は、コア 4 の両側縁 4 b 近傍に固着されている。固定両側部 1 4 では、外側シート 1 1 の内面が裏面シート 3 の外面に固着されている。自由部 1 6 は、裏面シート 3 に固着されておらず、裏面シート 3 から遊離している。裏面シート 3 と外側シート 1 1 の自由部 1 6 との間には、パッド 1 D の使用者 2 0 がその手 2 1 を入れることが可能な大きさの挿入部 1 7 が形成されている（図 1 4, 1 5 参照）。

【 0 0 5 5 】

パッド 1 D の前後端部 8, 9 は、コア 4 の両端縁 4 a から縦方向内方へ向かって延びている。前後端部 8, 9 は、コア 4 の両端縁 4 a から縦方向内方へ延びる表裏面シート 2, 3 の部分から形成されている。前後端部 8, 9 では、表裏面シート 2, 3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面

どうしが固着されている。

【 0 0 5 6 】

パッド 1 D の両側部 1 0 は、コア 4 の両側縁 4 b から横方向内方へ向かって延びている。両側部 1 0 は、コア 4 の両側縁 4 b から横方向内方へ延びる表裏面シート 2, 3 の部分から形成されている。両側部 1 0 では、表裏面シート 2, 3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面どうしが固着されている。

【 0 0 5 7 】

パッド 1 D の前後端部 8, 9 と両側部 1 0 とは、コア 4 の上方に位置してコア 4 の周囲を囲む周壁 2 5 を形成している。周壁 2 5 には、その周方向へ実質的に環状を画く複数条の伸縮性弾性部材 2 6 が収縮可能に取り付けられている。それら弾性部材 2 6 は、所定の倍率に伸長させた状態で周壁 2 5 に取り付けられている。弾性部材 2 6 は、裏面シート 3 を形成する不織布 2 8 とフィルム 2 9 との間に介在し、それらに固着されている。周壁 2 5 は、弾性部材 2 6 の収縮力によってコア 4 の上方で周方向へ収縮かつ周方向内方へ狭窄している。コア 4 の周囲と周壁部 2 5 との間には、パッド 1 D の周方向内方へ向かって開口するポケット P 2 が形成されている。

【 0 0 5 8 】

中間域 6 には、表面シート 2 を内側にしてパッド 1 D を縦方向へ 2 つに折り畳むための折曲案内部 2 7 が形成されている。案内部 2 7 は、中間域 6 の縦方向中央に位置して横方向へ延び、コア 4 を除く表面シート 2 と裏面シート 3 とから形成されている。案内部 2 7 では、表裏面シート 2, 3 の内面どうしが固着されていてもよく、表裏面シート 2, 3 の内面どうしが固着されていなくてもよい。案内部 2 7 には、コア 4 が存在しないので、案内部 2 7 におけるパッド 1 D の剛性が案内部 2 7 を除くパッド 1 D の残余の部位のそれよりも低い。

【 0 0 5 9 】

このパッド 1 D を使用するには、図 1 2 と同様に、使用者 2 0 が挿入部 1 7 に手 2 1 を入れ、中間域 6 が股間部 2 3 に位置するように、パッド 1 D の表面シート 2 を肌にあてがう。なお、このパッドの廃棄処理手順は、図 6 のそれらと同一

であり、その説明は省略する。

【 0 0 6 0 】

パッド 1 D は、前域 5 が使用者 2 0 の腹部 2 2 の側に当接し、後域 7 が使用者 2 0 の臀部 2 4 の側に当接するとともに、中間域 6 が使用者 2 0 の股間部 2 3 に当接する。使用者 2 0 は、パッド 1 D をあてがった状態で排尿する。尿は、表面シート 2 を透過してコアに吸収、保持される。パッド 1 D は、それを肌にあてがったときに、パッド 1 D が折曲案内部 2 7 を介して縦方向へ 2 つ折りになるので、前域 5 を腹部 2 2 に後域 7 を臀部 2 4 に容易に密着させることができる。パッド 1 D は、それを廃棄するときに、折曲案内部 2 7 を介してパッド 1 D を縦方向へ容易に折り畳むことができる。

【 0 0 6 1 】

パッド 1 D は、それを使用者 2 0 自身が自分の肌にあてがうので、パッド 1 D を排尿位置に密着させることができ、尿をパッド 1 D に確実に吸収させることができる。使用者 2 0 は、挿入部 1 7 に手 2 1 を入れてパッド 1 D を保持することができるので、肌にあてがったパッド 1 D が股間部 2 3 から不用意に落ちてしまうことはない。

【 0 0 6 2 】

パッド 1 D は、その使用にパンツを利用する必要はなく、挿入部 1 7 に手 2 1 を入れてパッド 1 D を肌にあてがうだけなので、パッド 1 D の使用が簡単であるとともに、パッド 1 D 単独での使用が可能である。パッド 1 D は、尿が表面シート 2 の外面を拡散してコア 4 の周囲に達したとしても、尿がコア 4 の周囲と周壁 2 5 との間に形成されたポケット P 2 に收容されるので、尿がパッド 1 D の前後端部 8, 9 や両側部 1 0 から外側に漏れてしまうことはない。

【 0 0 6 3 】

表面シート 2 には、親水性繊維不織布、多数の開孔を有する疎水性繊維不織布、微細な多数の開孔を有するプラスチックフィルムのいずれかを使用することができる。パッド 1 A, 1 B の裏面シート 3 には、疎水性繊維不織布、通気不透液性プラスチックフィルム、疎水性繊維不織布どうしをラミネートした複合不織布、疎水性繊維不織布と通気不透液性プラスチックフィルムとをラミネートした複

合シートのいずれかを使用することができる。パッド 1 C, 1 D の裏面シート 3 には、疎水性繊維不織布、通気不透液性プラスチックフィルム、疎水性繊維不織布どうしをラミネートした複合不織布のいずれかを使用することもできる。不織布には、спанレース、ニードルパンチ、メルトブローン、サーマルボンド、спанボンド、ケミカルボンドの各製法により製造されたものを使用することができる。外側シート 1 1 には、親水性繊維不織布や通気不透液性プラスチックフィルム、伸縮性プラスチックフィルムのいずれかを使用することもできる。

【 0 0 6 4 】

裏面シート 3 や外側シート 1 1 には、高い耐水性を有するメルトブローン法による繊維不織布の少なくとも片面に、高い強度と良好な柔軟性とを有するспанボンド法による繊維不織布を重ね合わせた複合不織布（SM 不織布または SMS 不織布）を使用することもできる。

【 0 0 6 5 】

親水性繊維不織布は、親水化処理が施された合成繊維、半合成繊維、再生繊維のうちのいずれか、または、それら繊維を混合した複合繊維から作ることができる。合成繊維には、特に限定はないが、ポリエステル系、ポリアクリロニトリル系、ポリ塩化ビニル系、ポリエチレン系、ポリプロピレン系、ポリスチレン系を使用することができる。合成繊維には、芯鞘型複合繊維、並列型複合繊維、異型中空繊維、微多孔繊維、接合型複合繊維を使用することもできる。疎水性繊維不織布は、合成繊維から作ることができる。疎水性繊維不織布には、撥水処理が施された半合成繊維や再生繊維が含まれていてもよい。

【 0 0 6 6 】

伸縮性繊維不織布には、メルトブローンやспанボンドの各製法により製造されたものを使用することができる。伸縮性不織布の構成繊維には、熱可塑性エラストマー樹脂を溶融、紡糸した伸縮性繊維を使用することができる。伸縮性繊維不織布には、熱可塑性エラストマー樹脂繊維からなる伸縮性かつ疎水性繊維不織布の少なくとも片面に、熱可塑性合成樹脂を溶融、紡糸した捲縮繊維からなる疎水性繊維不織布を重ね合わせた複合不織布を使用することもできる。

【 0 0 6 7 】

高吸収性ポリマーには、デンプン系、セルロース系、合成ポリマー系のものを使用することができる。高吸収性ポリマーは、粒子状または繊維状のものを使用することができる。

【 0 0 6 8 】

表裏面シート 2， 3 どちらの固着、裏面シート 3 に対する外側シート 1 1 の固着、表裏面シート 2， 3 に対するコア 4 の接合、表裏面シート 2， 3 に対する弾性部材 1 2， 2 6 の固着には、接着剤、または、ヒートシールやソニックシール等の熱による溶着手段を利用することができる。接着剤には、ホットメルト型接着剤やアクリル系接着剤、ゴム系接着剤を使用することができる。接着剤は、表裏面シート 2， 3 の内面にスパイラル状やジグザグ状、ドット状、縞状のうちのいずれかの態様で塗布されていることが好ましい。

【 0 0 6 9 】

図 1 のパッド 1 A では、図 6 のそれと同様に、外側シート 1 1 が位置するコア 4 の部位に外側シート 1 1 の周縁に沿って表面シート 2 の側へ向かって隆起する隆起部 1 7 が形成されていてもよい。また、図 1， 9 のパッド 1 A， 1 C は、外側シート 1 1 が弾性的な伸縮性を有する繊維不織布から形成されていてもよい。図 1， 6 のパッド 1 A， 1 B では、中間域 6 の縦方向中央に折曲案内部 2 7 が形成されていてもよい。一方、図 9， 1 3 のパッド 1 C， 1 D では、中間域 6 に折曲案内部 2 7 が形成されていなくてもよい。

【 0 0 7 0 】

図 6， 1 3 のパッド 1 B， 1 D は、外側シート 1 1 に表裏面シート 2， 3 の色調と異なる色調の着色が施されていてもよく、外側シート 1 1 にイラストや文字、図形、記号等の表示要素 1 3 が形成されていてもよい。パッド 1 B， 1 D の外側シート 1 1 に着色が施されるとともに表示要素 1 3 が形成されると、使用者 2 0 が肌にあてがうべき面（表面シート 2）を間違えることはなく、挿入部 1 7 の存在を容易に認識することができる。

【 0 0 7 1 】

図 1 3 のパッド 1 D は、図 9 のそれと同様に、前域 5 と中間域 6 の前半分 6 a とに位置するコア 4 の厚み寸法が中間域 6 の後半分 6 b と後域 7 に位置するコア

4 のそれよりも大きく、前域 5 と中間域 6 の前半分 6 a とに位置するコア 4 の肌当接側から上方への隆起高さが中間域 6 の後半分 6 b と後域 6 に位置するコア 4 の肌当接側から上方へのそれより大きくてもよい。

【 0 0 7 2 】

【発明の効果】

本発明にかかる使い捨て体液吸収パッドによれば、使用者自身が挿入部（ポケット）に手を入れてパッドを自分の肌にあてがうので、パッドを排尿位置に正確に密着させることができ、尿をパッドに確実に吸収させることができる。使用者は、挿入部に手を入れてパッドを保持することができるので、肌にあてがったパッドが股間部から不用意に落ちてしまうことはない。

【 0 0 7 3 】

このパッドは、従来技術のそれと異なり、パンツを介してパッドを肌に密着させる必要はない。このパッドは、その使用にパンツを利用する必要はなく、挿入部に手を入れてパッドを肌にあてがうだけなので、パッドの使用が簡単であることはもちろん、パッド単独での使用が可能である。

【 0 0 7 4 】

コアの周囲を囲む弾性的に伸縮可能な周壁を有するパッドは、コアの周囲と周壁との間にパッドの周方向内方へ向かって開口するポケットが形成されるので、尿が表面シートの外面を拡散してコアの周囲に達したとしても、尿がポケットに收容され、尿がパッドの前後端部や両側部から外側に漏れてしまうことはない。

【 0 0 7 5 】

前域と中間域の前半分とに位置するコアの肌当接側から上方への隆起高さが中間域の後半分と後域とに位置するコアの肌当接側から上方へのそれよりも大きいパッドは、それに多量の尿が排泄されたとしても、前域と中間域の前半分とに位置するコアに排泄された多量の尿を吸収させることができ、尿の中間域の後半分と後域とへの流動を防ぐことができる。

【 0 0 7 6 】

中間域に横方向へ延びる折曲部が形成されたパッドは、パッドを肌にあてがったときに、パッドが折曲案内部を介して縦方向へ 2 つ折りになるので、前域を腹

部に後域を臀部に容易に密着させることができる。このパッドは、それを廃棄するときに、折曲案内部を介してパッドを縦方向へ容易に折り畳むことができる。

【 0 0 7 7 】

外側シートが位置するコアの部位に隆起部が形成されたパッドでは、隆起部が尿に対する障壁となり、排泄された尿のパッドの外側への漏れを防ぐことができる。

【 0 0 7 8 】

外側シートに表裏面シートとは異なる色調の着色が施されたパッドまたは外側シートが所定の表示要素を有するパッドでは、使用者がパッドの肌にあてがうべき面（表面シート）を間違えることはなく、さらに、挿入部（ポケット）の存在を容易に認識することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

一例として示す体液吸収パッドの部分破断斜視図。

【図 2】

図 1 の I I - I I 線矢視断面図。

【図 3】

図 1 の I I I - I I I 線矢視断面図。

【図 4】

使用状態にあるパッドの斜視図。

【図 5】

廃棄するために折り畳まれた使用後のパッドの斜視図。

【図 6】

他の一例として示す体液吸収パッドの部分破断斜視図。

【図 7】

図 6 の V I I - V I I 線矢視断面図。

【図 8】

図 6 の V I I I - V I I I 線矢視断面図。

【図 9】

他の一例として示す体液吸収パッドの斜視図。

【図 1 0】

図 9 の X - X 線矢視断面図。

【図 1 1】

図 9 の X I - X I 線矢視断面図。

【図 1 2】

使用状態にあるパッドの斜視図。

【図 1 3】

他の一例として示す体液吸収パッドの斜視図。

【図 1 4】

図 1 3 の X I V - X I V 線矢視断面図。

【図 1 5】

図 1 3 の X V - X V 線矢視断面図。

【符号の説明】

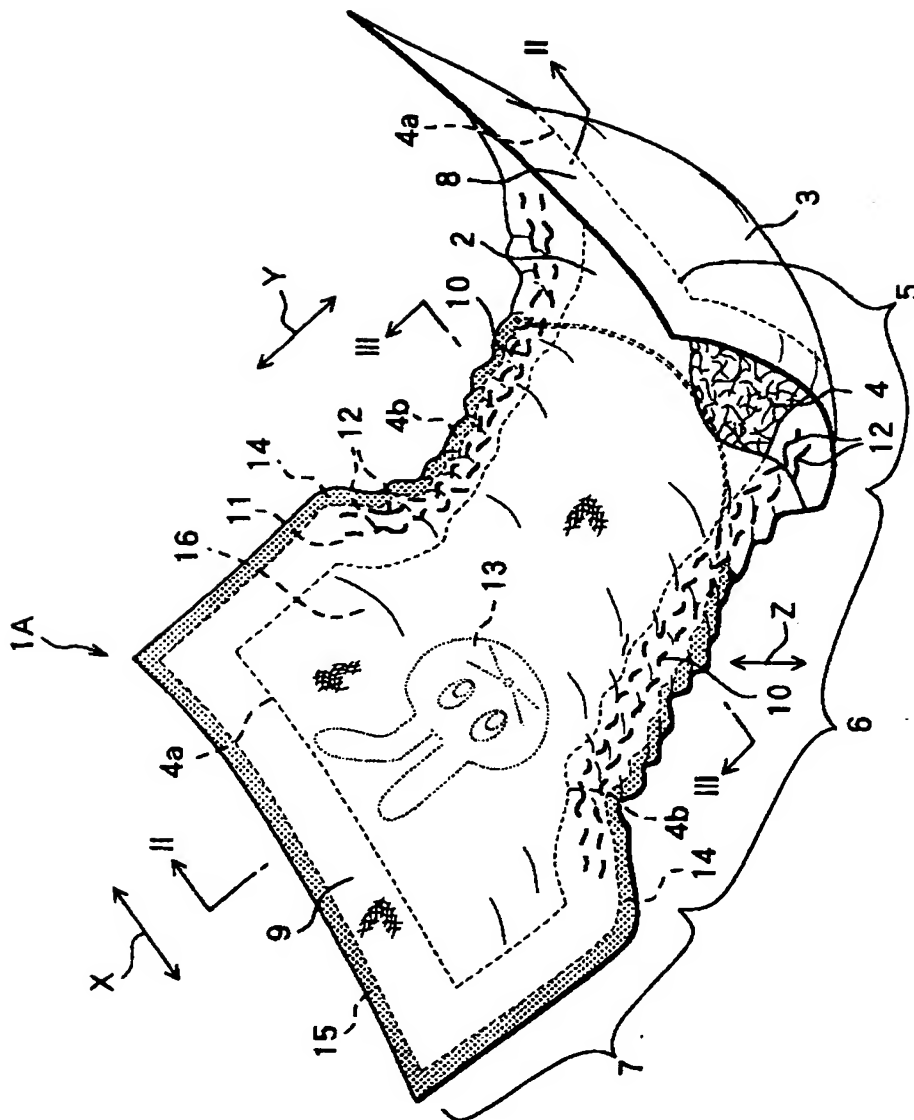
- | | |
|-----|-------------|
| 1 A | 使い捨て体液吸収パッド |
| 1 B | 使い捨て体液吸収パッド |
| 1 C | 使い捨て体液吸収パッド |
| 1 D | 使い捨て体液吸収パッド |
| 2 | 透液性表面シート |
| 3 | 不透液性裏面シート |
| 4 | 吸液性コア |
| 4 a | 両端縁 |
| 4 b | 両側縁 |
| 5 | 前域 |
| 6 | 中間域 |
| 6 a | 前半分 |
| 6 b | 後半分 |
| 7 | 後域 |
| 8 | 前端部 |

9	後端部
1 0	両側部
1 1	外側シート
1 2	伸縮性弾性部材
1 3	表示要素
1 4	固定両側部
1 5	固定端部
1 6	自由部
1 7	挿入部
1 8	隆起部
2 5	周壁
2 6	伸縮性弾性部材
2 7	折曲案内部
P 1	ポケット（挿入部）

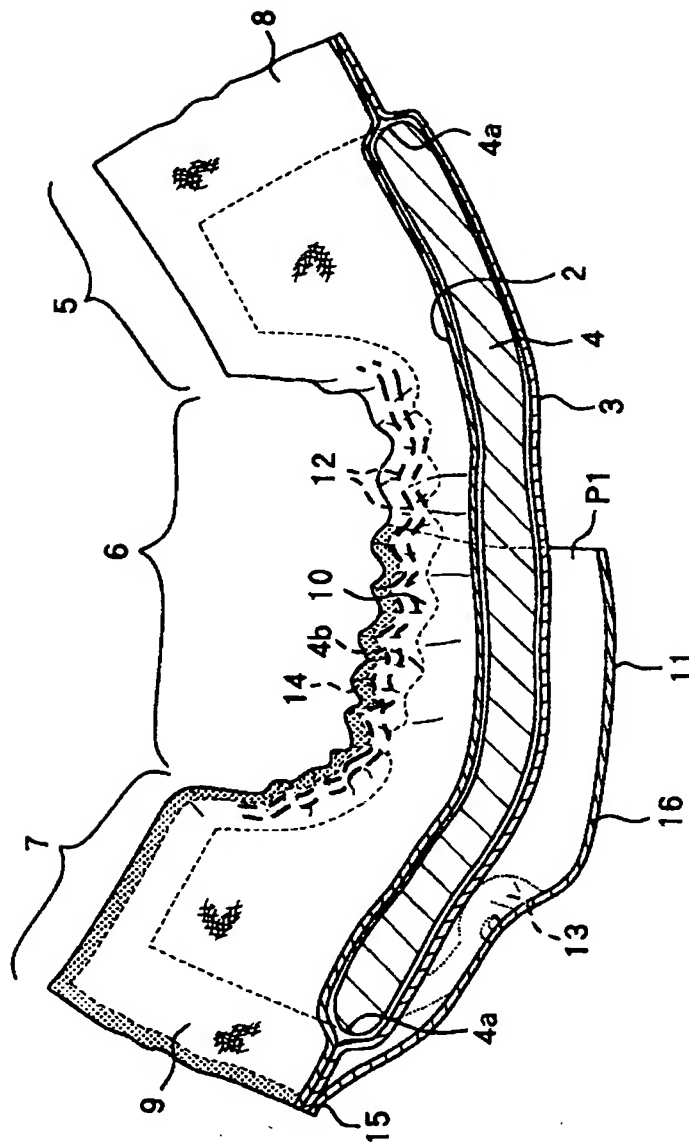
【書類名】

凶面

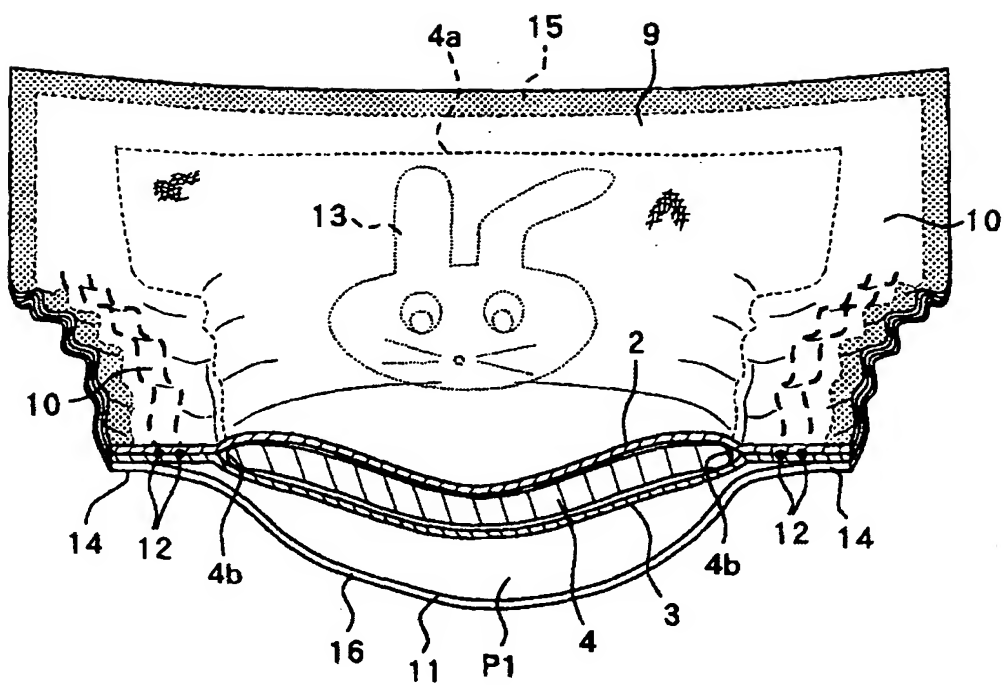
【圖 1】



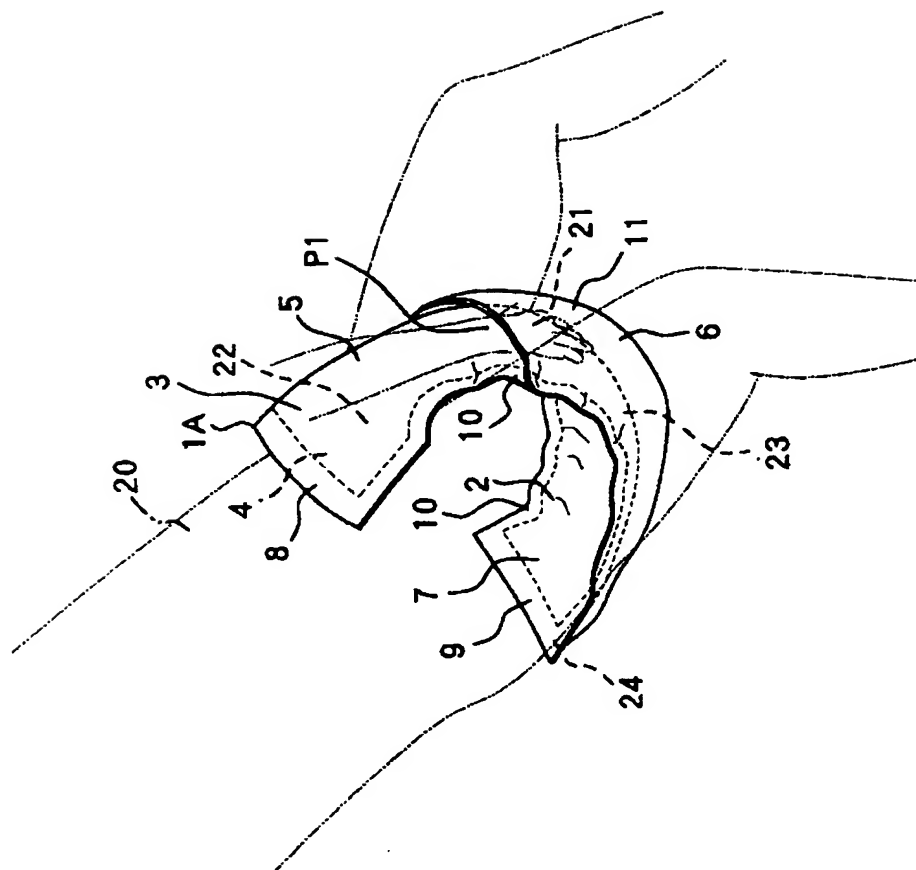
【図 2】



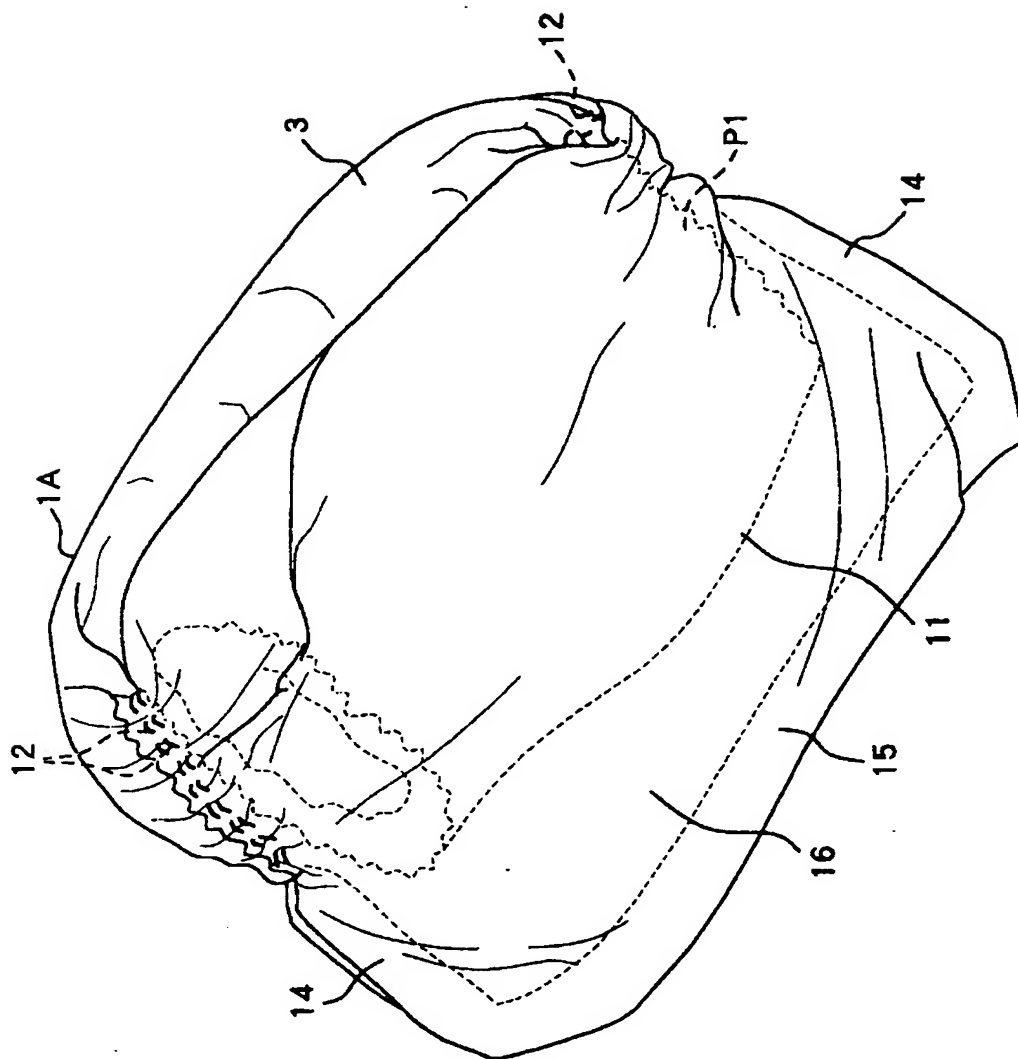
【図 3】



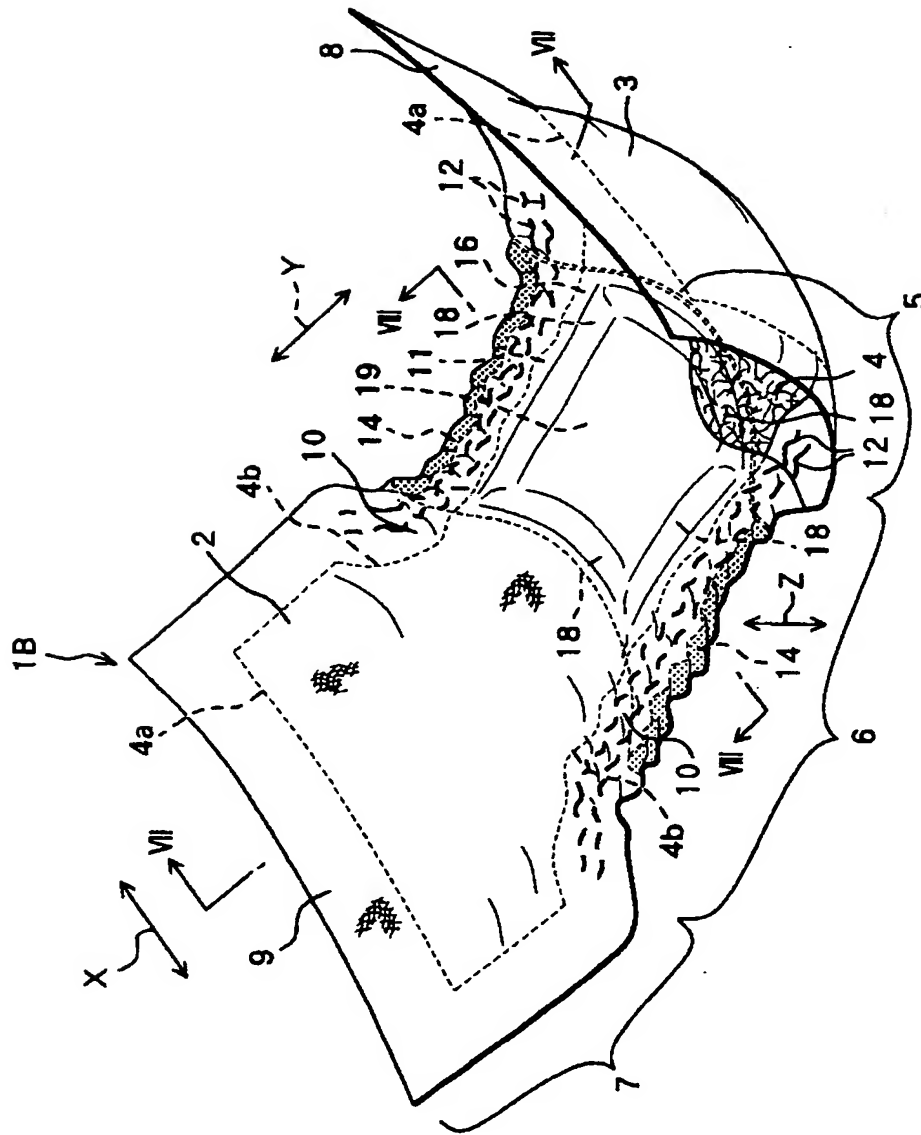
【図 4】



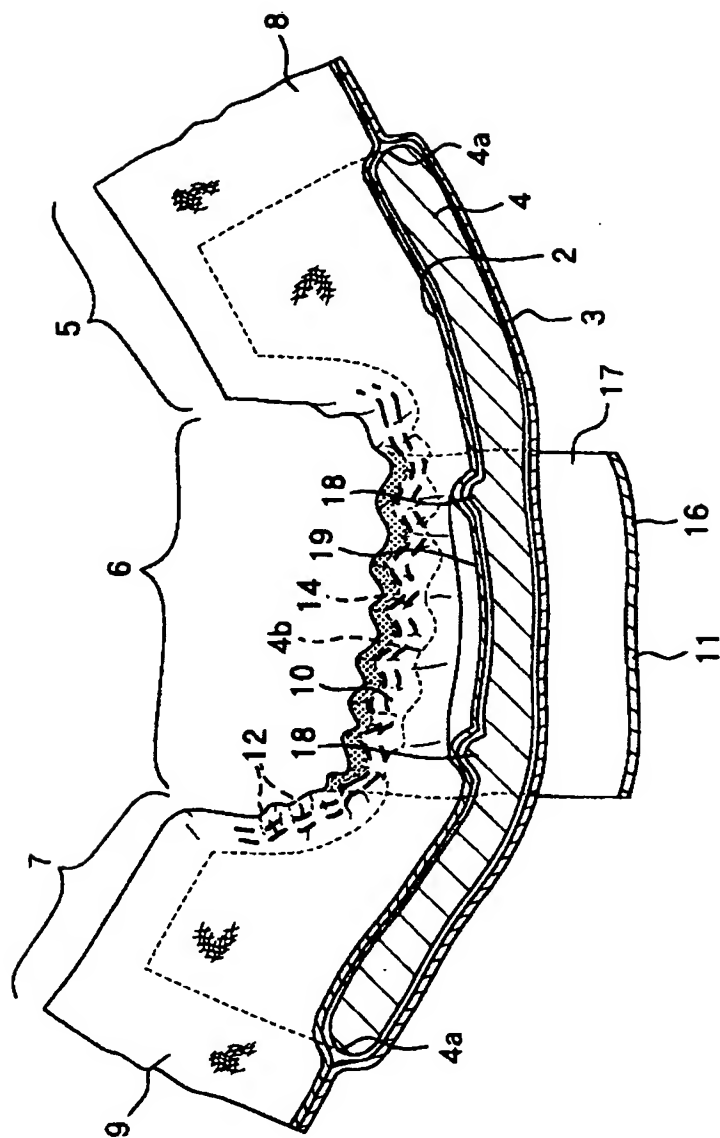
【図5】



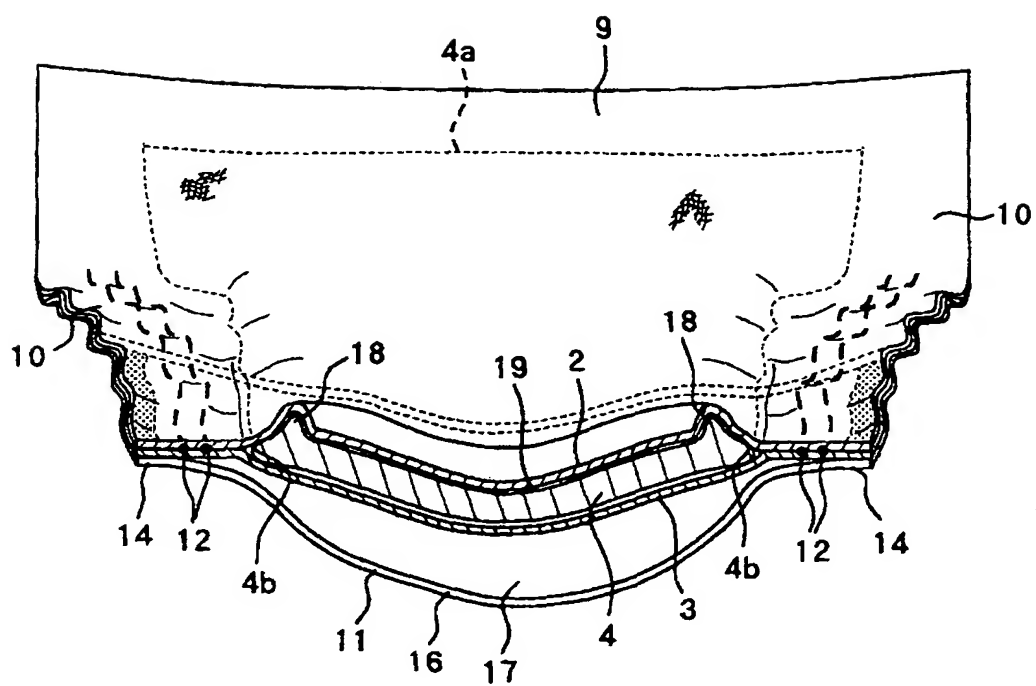
【図 6】



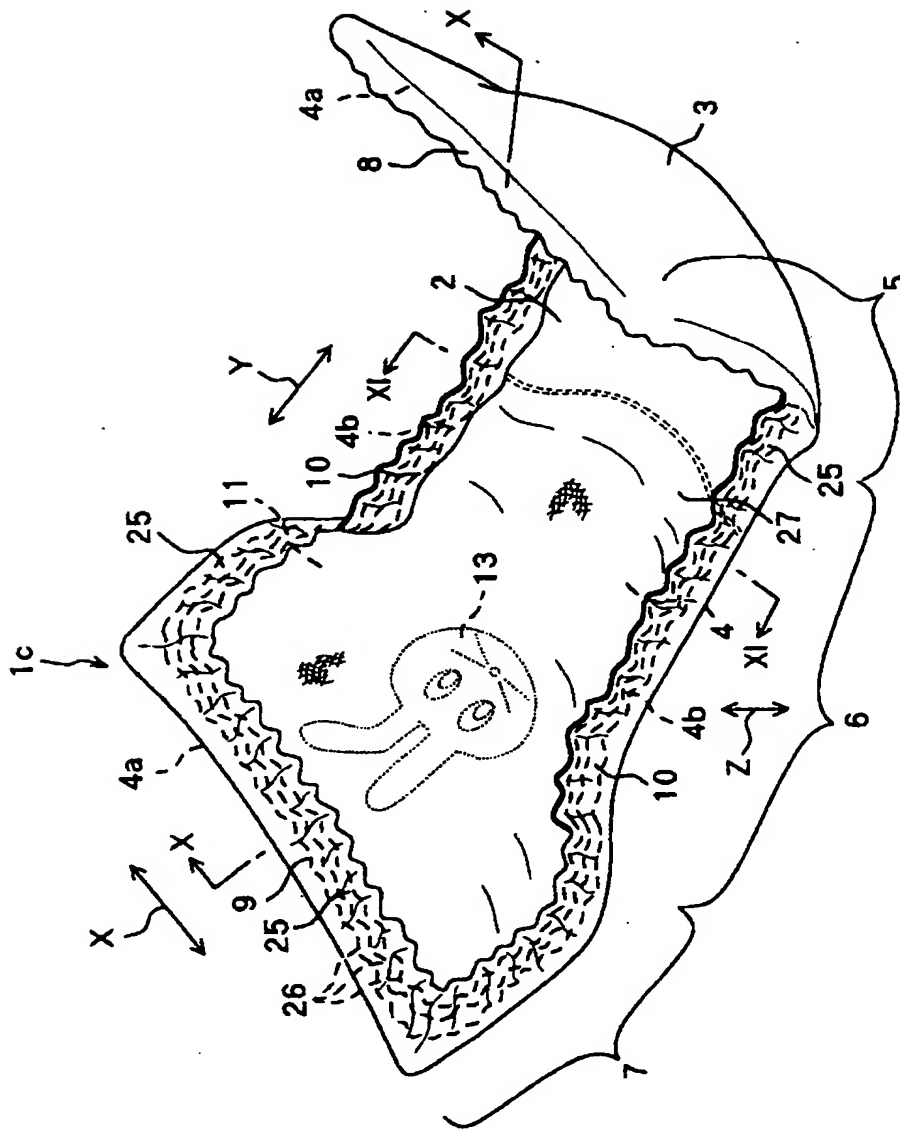
【図7】



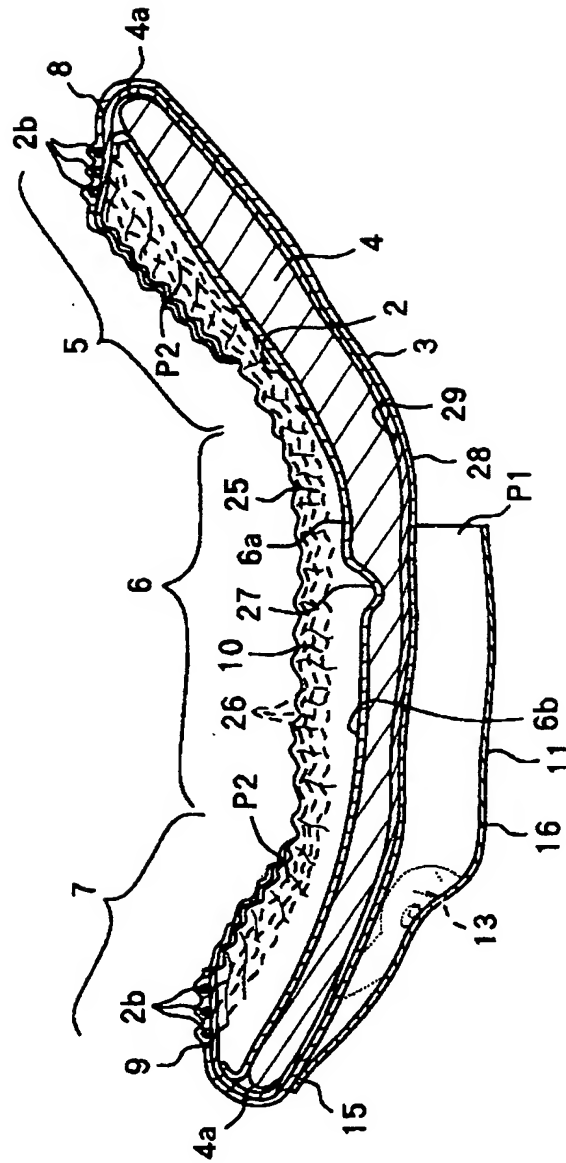
【図 8】



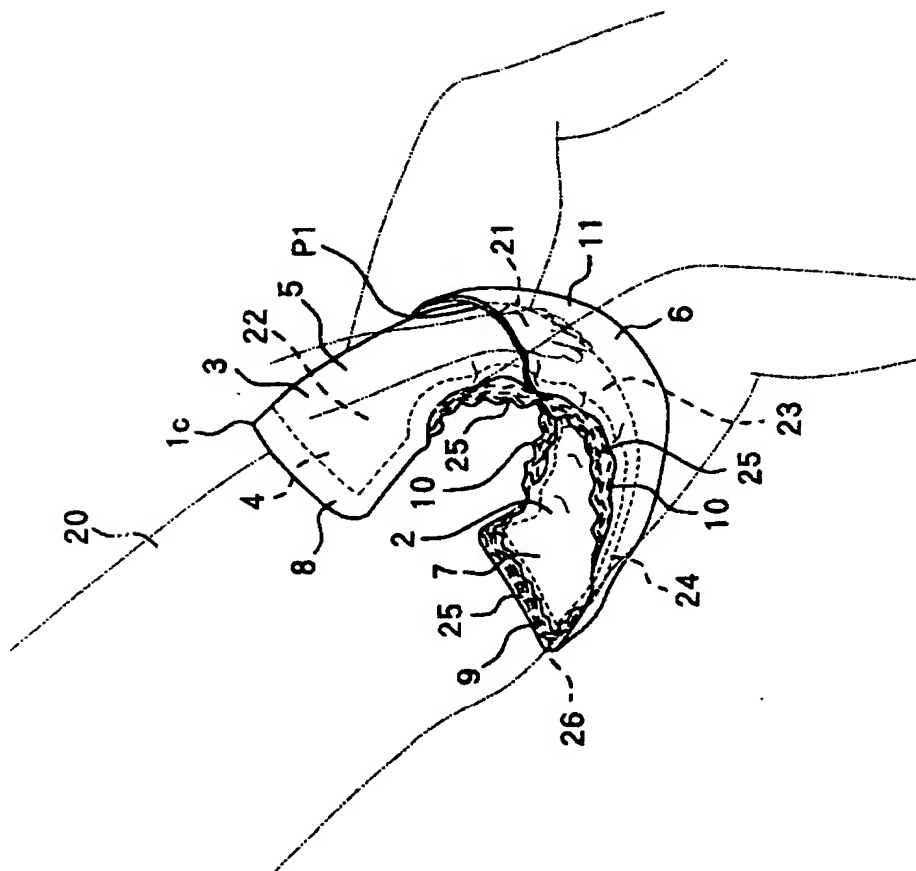
【図 9】



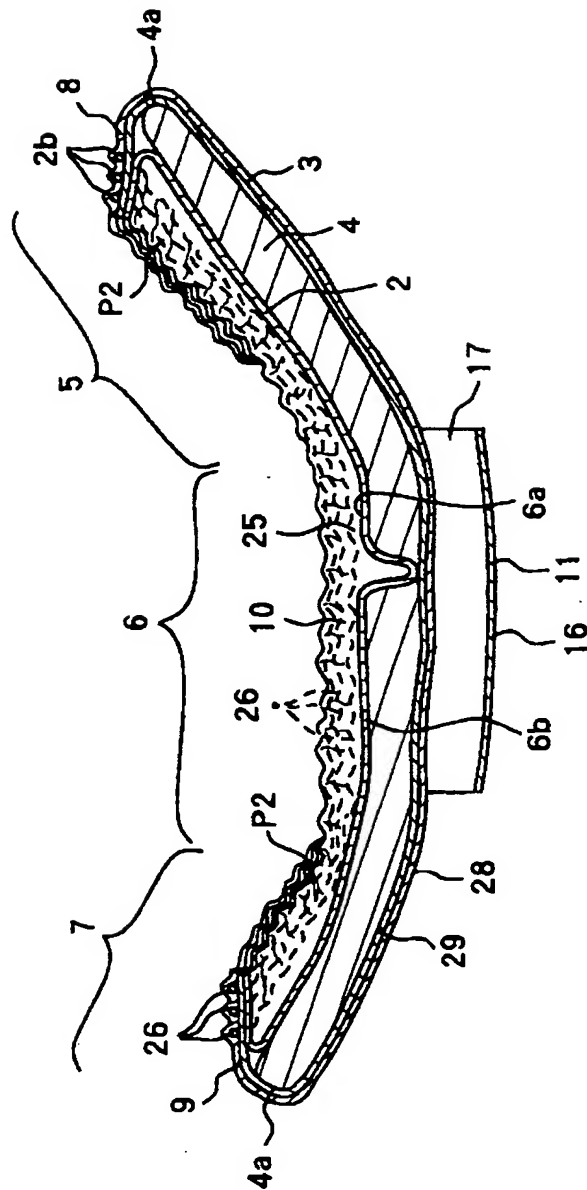
【図 10】



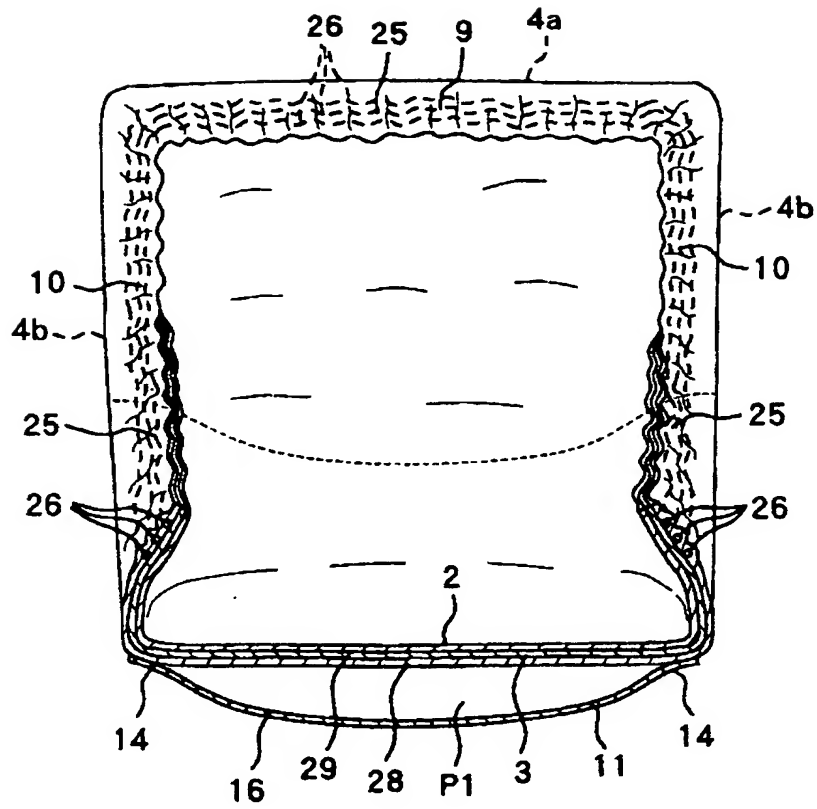
【図 12】



【図 14】



【図 15】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 単独で使うことができ、パンツを介さずに使用者の肌に密着させることができる使い捨て体液吸収パッドを提供する。

【解決手段】 透液性表面シート 2 および不透液性裏面シート 3 と、表裏面シート 2, 3 の間に介在する吸液性コア 4 とから構成された縦長の使い捨て体液吸収パッド 1 A であり、裏面シート 3 の外側に位置してパッド 1 A の中間域 6 から後域 7 に向かって延びる外面シート 1 1 が、パッド 1 A の両側部 1 0 に固着された固定両側部 1 4 と、パッド 1 A の後端部 9 に固着された固定端部 1 5 と、固定両側部 1 4 と固定端部 1 5 との間に位置してパッド 1 A から遊離する自由部 1 6 とを有し、前域 5 の側から後域 7 の側へ向かって開口するポケットが、裏面シート 3 と外面シート 1 1 との間に形成されている。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 1 1 5 1 0 8]

1. 変更年月日 1 9 9 0 年 8 月 2 4 日

[変更理由] 新規登録

住 所 愛媛県川之江市金生町下分 1 8 2 番地

氏 名 ユニ・チャーム株式会社